

Fumio Kishida DETAILED REPORT MAGAZINE [自由民主党広島県第一選挙区支部]

Contents



- ○国際社会の中における 日本の安定感
- ○G7ルッカ外相会合
- ○G20ボン外相会合
- ○地方の魅力発信プロジェクト
- ○宏池会60周年



■宏池会60周年

現在、岸田文雄が会長を務めている政策集団「宏池会」は、今年で創設60周年を迎えました。初代会長の池田 勇人総理をはじめ、大平正芳総理、鈴木善幸総理、宮澤喜一総理と4人の総理大臣を輩出した、自民党の中で最も 古く、唯一名前が変わっていない最古参の派閥です。

また宏池会は、全然戦後の抑圧された社会を鑑み、言論の自由や表現の自由などといった自由に対する強い思 いと、現実の問題に極めてリアルに冷静な認識と判断によって、保守本流として日本の政治の中核を成してきまし

その宏池会が今年で60周年を迎えました。今年はそれを記念し、様々なイベントや催しを企画しています。ぜひ 多くの方にご協力を賜り、参加して頂ければ幸いです。











岸田文雄後援会事務所

●国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館1222号室 TEL (03) 3508-7279 (直通) FAX (03) 3591-3118

●広島事務所

〒730-0013 広島市中区八丁堀6-3 和光八丁堀ビル9階 TEL (082) 228-2411 (代表) FAX (082) 223-7161

●岸田文雄ホームページ

http://www.kishida.gr.jp/

岸田文雄プロフィール

昭和32年生まれ。早稲田大学法学部卒業後、㈱日本長期信用銀行等を経て、平成5年の衆

て厳しい国会追及を行い、解散に追い込む。

また24年には保守本流の政策集団である 「宏池会」の会長に就任する。

平成24年に発足した第二次安倍内閣におい て外務大臣として入閣。現在の第三次安倍第二 次改造内閣まで一貫して再任され、戦後外務大 臣の在任期間歴代2位、専任の外相としては最



世界各地では、保護主義や内向は様々な変化の可能性を秘めた 支配に基づく 、国際秩

た中、同盟国米国ではトランプ新大

本は世界の安定と繁栄を主導する国として多 催される予定です。英国のEU 始される予定です。このように国際社会におい :在感を高めてきました。昨年はG7議長|した政治、外交を実現し、国際社会におけ して国際社会の議論をリ し、中国でも五年に一度の共産党大会が 中で日本は、これまで四年間にわたり安 イツ・オランダでは議会選挙が行わ 八年ぶりに政権が交代 は大統領選挙が行政権が交代しまし 離脱交渉も るなど、

価値を共有する国々と連携し、変化の可能性 秘めたこの一年を、日本の国益を増進させ 日本は、国際社会の安定勢力として、基本的 と繁栄につながる一年 化、日本経済 、近隣諸

米同盟の強化こそが地域の平 米の和解の価値を国際社会に示 -変です。世界経済の原動力であるアジア日米同盟が日本外交の基軸という方針第一の柱は、日米同盟の強化です。 洋地域の安定は日米両国共通の利益です の日米協力の積み重ねに基づく 和と繁栄の

の近隣諸国の連携が重要になってきます。 わせて対応しなければならない問題です チン大統領の訪日は、平 くことが重要です 分野にお -ル問題

国間関係の一つです。これらの国々に対しては また拉致問題なども、これら近隣諸国と力 た同時に、北朝鮮の核問題やミサイ **互の信頼のもと、両国の関係を未来志向の新** いてさまざまなレベルで意思疎通を図り、 様々な諸問題が山積しています 栄に貢献していかなければなりません。 強化するとともに、地域及び世界 であるという認識のもと、 日中関係と日韓関係は共に最も重要な二第二の柱は、近隣諸国との『作子イン 緊密な関係を構築しつつ、日米同盟を へと発展させてい 安倍総理の真珠湾訪問において日 トランプ新政権と

発展させていきたいと考えています。 の国益に資す るよう 日ロ関係をさらに

る経済外交の

進め、日本の競争力 質の高いインフラの輸出、訪日観光客、 支援を在外公館と一体となって支援し 日本が先頭に立ってこ 由貿易は世界経済成長の源泉であ ん。企業の海外展開 強化を目

魅力を発信し、私自身先頭に立って取り

本の地方の

ひとも国

民の皆様のご理解を でいるところです。これら

東アジア 地域包括的経

様々な枠組みを活用し、これを強力済連携、RCEP、各国とのFTA^ に推進していく必要があると思いま Pを初め、

の三本柱を基本に今年 過激主義の問題、 の課題が日 問題な

のオバマ大統領の被爆地広島訪問 野です。この問題は一朝一 と国際社会の前に山積して ど、この他にも数多 みの外交実施体制の確立の 法の支配の強化への対応、主要国並 中でも核軍縮・不拡散の問題は外 核兵器のない世界に向 夕で解決す ることに繋 れてきた分



理解を得ることこそが最も重要な点だと感じ

と思いますが、外交とはやはり 国民の皆様の つ実践的な取り組みを重ね、軍縮・不拡散の国

4月9日~12日、G7外相会合がルッカ(イタリア)において開催されました。会合では、シリア情勢やイラク・ISILノ問題、またアジア情勢やウ クライナの問題などが議論されました。またG7外相会合共同コミュニケとサイバー問題に対するサイバー空間における責任ある国家の行動 に関するG7宣言と、不拡散及び軍縮に関するG7声明も発出しました。

▶G7ルッカ外相会合(4月9日~12日)









▶G20ボン外相会合(2月16·17日)

2月16日~17日、G20外相会合がボン(ドイツ)において開催されました。今回はG20メンバーに加え、招待国(スペイン、シンガポール、オラ ンダ、ノルウェー、ベトナム(APEC議長国)、招待機関(国際連合(UN)、世界銀行、アフリカ連合委員会(AUC))が参加し、「国際秩序の形成 一危機管理を超えた外交政策」のテーマの下に様々な議論が行われました。

fせて日米韓外相会合の他、様々な国と二国間外相会談を行いました。









外務省「地方の魅力発信プロジェクト」

岸田文雄外務大臣は、外務省において「地方の魅力発信プロジェクト」を開始しました。このプロジェクトには様々な取り組みがありますが、 例えば外務省の施設である飯倉公館において、各都道府県の特産品などのPRのイベントを開いたり、また岸田大臣自らが各国の駐日大使と 共に地方を訪れて、その素晴らしさを共有し、地元の方々と対話を行い、地方の魅力を世界に発信するというイベントも開いています。













